



大阪国際大学 Osaka International University

全人教育と挑戦を礎に 問題解決できる人材に

大阪国際大学は「全人教育」を建学の精神に掲げ、`GLOBAL MIND`のキーワードに基づいて、主体的に行動できる真の国際人の育成に取り組んでいる。国際弁護士でもある北川俊光学長は「学びによって得られる知識、知的好奇心、他者への理解力、より良い道に進むための選択眼など人生には様々な力が求められ、どれが欠けても完全な人とは言えません。本学は、人生に直面するいろいろな問題を自分で解決できる力を養うために、『全人教育』を行っています。地域活性化や町づくりのプロジェクトなどで問題解決能力を身につける『PBL (Project-Based Learning)』などはまさ



北川俊光学長

にその表れです」と語る。国際化がますます進む中、グローバル人材を育成するため、原則全員が海外留学・研修を体験できる「グローバルビジネス学部」(開設届け出申請中)を2014年4月に開設。2015年春には守口キャンパスにグローバル人材育成の拠点となる新校舎を完成させ、時代にマッチする「全人教育」を積極的に展開する。さらに大阪国際大学が力を入れるのが、「Challengers' University」——つまり挑戦だ。そもそも高校生にとって大学進学は一つの挑戦だが、同大学での学生

生活こそ挑戦に満ちている。その最たる制度が、学生の挑戦したい夢に最高50万円の奨励金を付けて活動を支える「学生チャレンジ制度」だ(Topics参照)。この他にも「外国語を使いこなせるようになりたい」「資格を取りたい」など個々の学生の挑戦を、多様な海外留学・研修制度や資格取得の対策講座などでサポートしている。「『全人教育』の理念による大学運営と挑戦への支援によって、これからの時代に必要とされる能力を持つ人材を社会に送り出す。これこそが、大学として未来を生きる若者にできることです。時代が求める人間としての優れた能力を学生につけることを、全教職員が常に意識して日々の教育を行っています。本学は皆さんの挑戦を応援します」。

Message

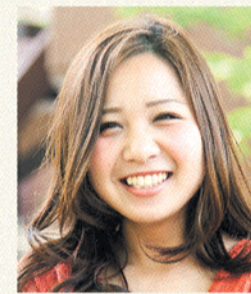
【在学生】日中韓友好メニューで国際貢献!



ビジネス学部 経済ファイナンス学科4年 野村 雄大さん

「大学生活で何かを残したい」と思っていた時、先進国の食品1食分から20円を開発途上国に寄付するTFT (TABLE FOR TWO)と呼ばれるプロジェクトを知り、「学生チャレンジ制度」を利用して挑戦。企画は日中韓の味を融合させた友好メニューを学食として販売し、その売り上げの一部を寄付するというもの。中国や韓国の留学生らとメニューの試作を重ね、2012年11月から販売を始めた。販売初日、考案したメニューが10分で完売し驚きました。ボランティアは初めてでしたが、職員の方や仲間のおかげで実現でき、このチャレンジを通じて自信が持てるようになりました。

【在学生】若者の力で地域活性化に挑戦!



ビジネス学部 経営デザイン学科3年 坂元 悦子さん

高齢化が進む京都府南山城村と、枚方キャンパス周辺の菅原東校区の人を結び、互いの地域を活性化させるプロジェクトに取り組んでみました。もともと両地域は、学内の体験型教育PBLの一つ「ひと・まち・であうプロジェクト」で関わったところ。「ヨソモノ、ワカモノ」の私たちが両地域を結び、コミュニティデザインを手がけています。「学生チャレンジ制度」で得た奨励金で南山城村の夏祭りの企画・運営を担当し、菅原東校区の子どもと保護者を招待。キャンパスでは村の野菜を販売しました。地域の人とコミュニケーションを図り、企画をプレゼンテーションするなど貴重な経験をしました。

Topics

夢を実現させる「学生チャレンジ制度」

「やってみよう!」「実現したい!」。そんな学生の熱い思いを力強くサポートするのが、大学独自のプログラム「学生チャレンジ制度」だ。挑戦してみたいことをプロジェクトとして企画立案し、教員アドバイザーを置き、企画書にして提出。学内でプレゼンテーションし、審査で独自性、実現性が認められると、最高50万円の奨励金を得られる。認定されたプロジェクトは、地域を支援するイベントや海外でのボランティア、開発途上国支援など多彩で、近頃は国際的な活動が目立っている。



チャレンジ制度で認定された「カンボジアの子どもたちに通学かばんを贈ろう」。一人一つのかばん作りを呼びかけ250個が完成。学生がカンボジアへ届けた

日本初、VVVフェンロで海外研修

2013年2月、オランダのプロサッカーチーム「VVVフェンロ」とパートナーシップ契約を締結。VVVフェンロが日本の学校法人とパートナー契約するのは初めてのことで、今年度からVVVフェンロやスポンサー企業での海外インターンシップ・プログラムもスタート。数回の事前講義でスポーツビジネスの概略やプランニングスキルを学んだのち、VVVフェンロおよびスポンサー企業で国際実務が体験できる。なお、現地でのコミュニケーションは、原則として英語で行う。



歴史ある海外クラブで得るものは大きいはず!

国内外をフィールドに チャレンジを通して成長する喜び

「何かに挑戦したい」という学生の思いを、様々な制度やプロジェクトなどで支援する大阪国際大学。開学以来、「GLOBAL MIND」をキーワードに、真の国際人を育成すべく邁進する。2014年4月には「グローバルビジネス学部」(開設届け出申請中)を開設し、国際ビジネスの舞台上で活躍できる人材の育成を目指す。

Challengers' University



「学生チャレンジ制度」を利用し、ESS部員が「第3回世界大学生リーダーシップシンポジウムinバリ島」に参加

授業料免除の選抜コースを有する 「グローバルビジネス学部」

来春誕生予定の「グローバルビジネス学部」は、ビジネスの基礎知識を持つとともに、国際化する社会で自らを律し、異文化を理解して協調・協働できる人材の育成を目指している。経営学、マーケティングなど七つのコースで専門知識を磨き、原則全員が海外留学・研修を体験する実務的なカリキュラムだ。実務家による特別授業や、1人に1台のタブレット端末を与え、ビジネスに必要な情報通信技術のスキルも養う。特徴的なのが、世界で活躍できる人材を徹底的に育成する「グローバルビジネスインテンシブ(特待生)コース」の設置だ。定員は学部の1割にあたる30人を

予定。4年間の授業料を全額免除し、協定校への海外留学を必修とする。1年次からネイティブ教員による英語教育で語学力を高め、大手家電メーカーが社会人向けに行う海外研修プログラムも用意。帰国後は英語による双方向的な授業を複数の科目で受講でき、帰国後も高いモチベーションのまま進路に向けて学びを深めていく。

「特待生コースでは、グローバル人材のモデルとなる国際人を育てます。海外研修では、企業や工場などで多文化の人がともに働く現場を知り、グローバルに仕事をする意味を実感できます」と副学長の奥林康司教授。今年からオランダのプロサッカーチームVVVフェンロでの海外研修が始まり(Topics参照)、体験型教育は一層充実する。また1年次から

キャリア教育を必須とし、学生一人ひとりの強み、弱みを意識させ、将来目指す方向へとキャリアをプランニングしていく。最終的には日本企業の海外支社長やマネジャー、国際機関などで働くリーダーとなりうる人材を輩出することが目標だ。

学生が主体的に行動できる場を様々な用意する大阪国際大学。学生が臆することなくそれぞれの対象にチャレンジできる「Challengers' University」の名にふさわしい土壌を整え、未来の「挑戦者」を待っている。



奥林康司副学長

Challengers' University

挑戦者、挑べ求む。

本気で世界に挑戦したい人、募集。

「グローバルビジネス学部」開設

(2014年4月開設届出申請中)

校方キャンパス 〒573-0192 大阪府枚方市杉3丁目50番1号 TEL:072-858-1616(代)

グローバルビジネス学科 ※2014年4月より「グローバルビジネス学部」が誕生します。

●グローバルビジネスインテンシブ(特待生)コース ●経営学コース ●マーケティングコース ●経済学コース ●情報ビジネスコース ●ビジネス法務コース ●公共政策(公務員)コース

グローバルビジネスインテンシブ(特待生)コースは4年間授業料全額免除 ※なお、継続するには一定の条件が必要となります。詳細は「学生募集要項2014」にてご確認ください。

守口キャンパス 〒570-8555 大阪府守口市藤田町6丁目21番57号 TEL:06-6902-0791(代)

国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科

人間科学部 心理コミュニケーション学科 人間健康科学科 スポーツ行動科学科(女子のみ)

短期大学部 ライフデザイン総合学科 幼児保育学科

入試・広報部 TEL:06-6907-4310 URL: http://www.oiu.ac.jp MAIL: nyushi@oiu.ac.jp

大阪国際大学